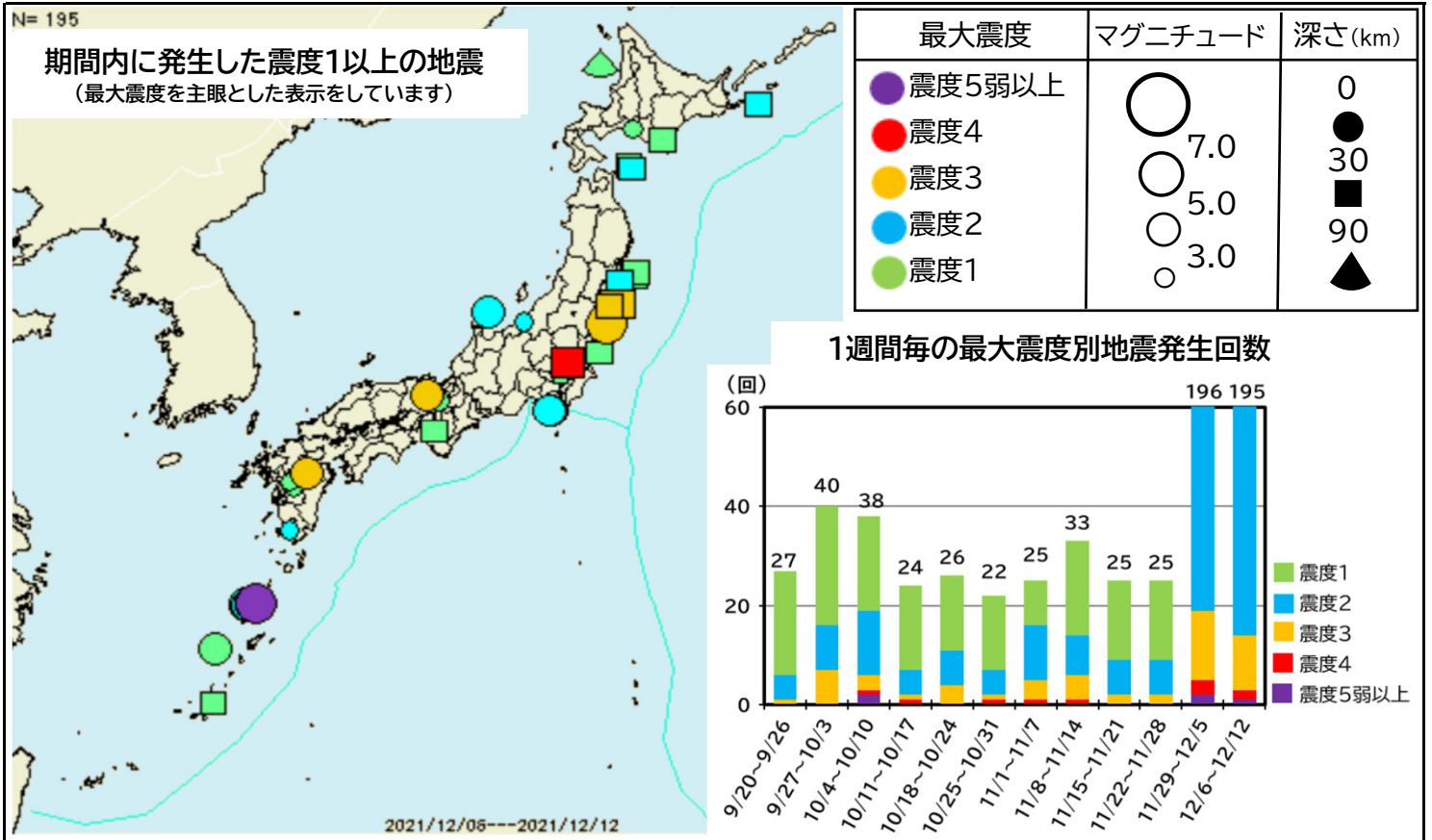


この期間の最大震度は5強(トカラ列島近海)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

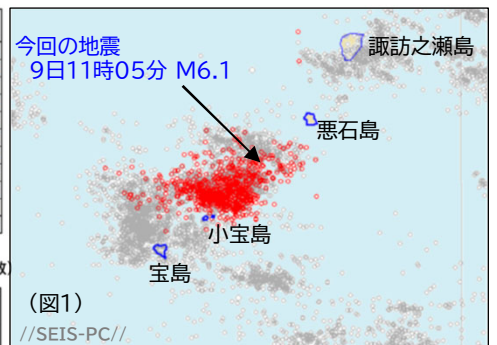
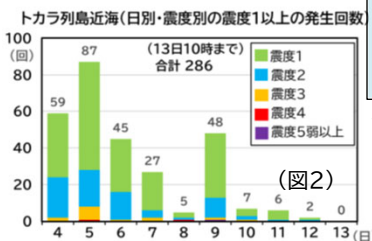
- この期間、震度1以上の地震が195回発生。最大震度はトカラ列島近海で発生した震度5強。 ■
- ・9日11時05分にトカラ列島近海で発生した地震(M6.1、深さ14km)により、鹿児島県十島村悪石島で震度5強を観測したほか、鹿児島県で震度4~1を観測。この地震は陸のプレート内で発生した正断層型の地震。このトカラ列島近海の地震は12月4日12時頃から地震活動が活発となり、13日10時現在、この地震を含め最大震度1以上を観測した地震が286回発生している(トピックス参照)。
- ・12日12時31分に茨城県南部で発生した地震(M5.0、深さ50km:速報値)により、茨城県結城市、笠間市など、栃木県足利市、栃木市など、群馬県桐生市、太田市など、埼玉県さいたま市、加須市などで震度4を観測したほか、東北地方南部から長野県にかけて震度3~1を観測。この地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型の地震。この地震の震源付近には活発な地震活動域があり、最近では2005(H17)年2月16日にM5.3(最大震度5弱)の地震により、重傷3名、軽傷23名、ブロック塀の倒壊1件の被害が生じた(総務省消防庁による)。

トピックス

- トカラ列島近海(悪石島近海)の地震活動 ■
- ・12月4日12時頃から地震活動が活発となっているトカラ列島近海(悪石島近海)の地震は、悪石島・小宝島の間を震源として消長を繰り返しながら続いている(図1参照)。
- ・4日からの地震活動で規模が最も大きな地震は今期間の9日に発生したM6.1(最大震度5強)で、1919年以降では1960(S35)年5月18日に発生したM6.2(屋久島町、奄美市で震度4:当時の震度観測には悪石島や宝島はない)。
- ・図2のグラフを見ると7日以降、発生数が少なくなっているが、過去の活動例から、しばらくの間は一旦少なくなっても、その後数が多くなるような増減を繰り返しながら、しばらく続くと考えられるので震源に近い所にお住いの人は、家具の固定など、家庭で出来る日頃の備えを再度確認してください。

トカラ列島近海で発生した地震の震度/日別回数

日	最大震度					合計
	5強	5弱	4	3	2	
4日			2	22	35	59
5日		1	7	20	59	87
6日			1	15	29	45
7日			2	4	21	27
8日		1	1	1	3	5
9日	1		1	11	35	48
10日			1	2	4	7
11日			1	5	6	12
12日			1	1	2	4
13日(10時まで)						0
合計		2	14	77	192	286



1997年10月以降の震央分布図(M≥2.0)  
赤丸:2021年12月以降に発生した地震  
灰丸:赤色の地震より前に発生した地震  
(注:島嶼部は地理的關係から内陸部に比べて地震観測網が粗いため、震源精度が一段低いことに注意)